

令和4年度 校長室からみなさんへ

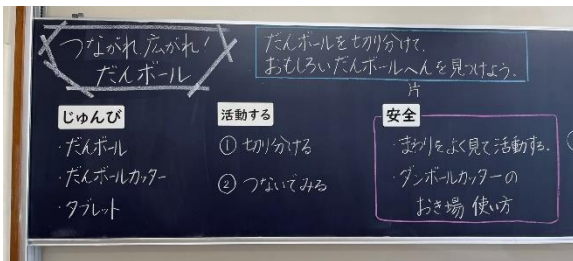
NO.18

高洲小の造形活動④

本校では、今年度も引き続き、**図画工作科（造形活動）**を研究の主軸として「**自分の考えや思いを、対話を通して主体的に表現できる子どもの育成**」に取り組んでいます。

7月14日の第1回校内授業研究では、4年生において「**つながれ、広がれ！ だんボール**」を題材にした「**造形遊び**」に取り組みました。身近にある段ボールを切り分けてできた段ボール片に切り込みを入れて組み合わせながら、**試す楽しさや思いついたことを実現する喜び**を味わう活動です。

子どもたちは、初めて使う段ボールカッターや段ボールと向き合い、切ること、手触り・質感、組み合わせ方などに親しみ、**思う存分、活動を楽しんでいました**。そして、段ボール片の大きさや形、思いのままに組み合わせることで**変化していく形を楽しみながら**、自分のイメージと友だちのイメージを伝え合い、さらに形やイメージを広げていました。



⇐自分との対話、材料や道具との対話も大切です。





↑ ↓ クラスによって形、組み合わせは様々。どれ1つとして同じ形はありません。↑



「これを支えるにはどうすればいいかな。」「ここを切ってつないだら?」「いい感じだね。」「これ使う?」「もっと高くしよう。」「もう少し切り込みを大きくして。」
対話が自然に生まれ、どんどん発想が広がっていきました。



↓ 事後研修では、成果や課題などについて話し合いました。



⇒ 翌日、下級生が鑑賞しました。遠くからながめたり、下からのぞいたり。
「すごいね。」
「大きいね。」
「作ってみたい。」
「形が〇〇みたい。」とイメージを膨らませていました。

